

2014 年第 1 回 日本陽電子科学会 理事会（臨時）議事録

日 時: 2014 年 7 月 8 日（木）11:30-12:30

場 所: 東京大学農学部 セイホクギャラリー

出席者: 白井 泰治（議長）、藤浪 真紀、長嶋 泰之、荒木 秀樹、河裾 厚男、島津 彰、鈴木 良一、永井 康介、平出 哲也、伊藤 賢志（事務局）

議事録:

以下の項目について審議した。

1. JAEA 陽電子ビーム利用研究施設構想の紹介  
JAEA 伊藤氏による当該施設構想の概要説明の後、意見交換が行われた。
2. 会報刊行委員会の設置に関して  
現行の会報編集委員会で担当する業務を整理した上で、会報刊行委員会を新たに設置し、刊行に関する業務について引き継ぐこととした。なお、会報第 3 号は新体制で対応することとした。
3. 平成 25 年度決算と平成 26 年度予算状況について  
平成 25 年度会計収支について堀監事と和田監事から承認を受けたこと、平成 26 年度の会計状況が概ね予算通り推移していること、が事務局より報告された。

4. 会費値上げについて

平成 25 年度総会にて承認された平成 27 年度からの会費値上げについて議論した。平成 26 年度総会にて値上げ幅を提案するために継続審議することとした。

5. 会報第 3 号編集状況の報告

藤浪会報編集委員長から当該号の編集進捗状況が報告された。

6. 陽電子科学研究交流会の開催説明

今年度は 9 月 1 から 3 日に千葉県岩井海岸にて開催することが藤浪副会長より報告された。ICPA 基金より 10 万円を補助することを承認した。

7. 日本学術会議協力団体申請状況

事務局より協力団体指定された旨の通知（6 月 27 日付）を受け取ったことが報告された。

8. その他

- (1) 役員改選手続きの確認
- (2) 役員所掌業務の整理
- (3) 会員動向と学生会員リスト更新
- (4) 奨励賞授賞規定改訂  
奨励賞の英語名 (Young Scientist Award of the Japanese Positron Science Society) を決定し、規定を改訂した。

日本学術会議協力学術研究団体への  
当学会指定について

平成 24 年度総会での承認に基づき、日本学術会議協力学術研究団体への登録申請を進めてまいりましたが、日本学術会議事務局より当該団体に指定された旨の通知（6 月 27 日付）がありましたので、ご報告申し上げます。

【参考】日本学術会議協力学術研究団体とは？

（日本学術会議 WEB サイトより引用）

「日本学術会議協力学術研究団体」は、日本学術会議と各団体との間で緊密な協力関係を持つことを目的とし、従来の登録学術研究団体及び広報協力学術研究団体に代わって、平成 17 年 10 月に設けられました（日本学術会議会則第三十五条）。日本学術会議からは、広報刊物、ニュースメール等の配布・配信、会議の共催や後援などを行っています。

■ 平成 26 年度総会のご案内

以下の要領で平成 26 年度日本陽電子科学会総会を開催予定です。総会出席のための旅費は支給できませんので、あしからずご承知置きください。なお、例年通り、京都大学原子炉実験所専門研究会「陽電子科学とその理工学への応用」期間中の開催となります。

平成 26 年度日本陽電子科学会総会開催について

日 時: 未定（メーリングリストでご案内します）

場 所: 京都大学原子炉実験所 会議室

〒590-0494 大阪府泉南郡熊取町朝代西 2 丁目  
議事予定:

役員改選について  
会則の改訂について  
平成 25 年度会計報告  
平成 26 年度会計報告（途中）  
平成 26 年度活動報告（途中）  
年会費値上げについて  
平成 27 年度活動・予算計画  
国際会議・国内会議案内  
その他

■ 2014 年度会費納入のお願い

2014 年度の会費 (2,000 円) をご納付下さい。また 2013 年度以前の会費が未納の方は、その分とあわせてお振込ください。なお、学生会員は会費免除（無料）です。

郵便局からの振込先：ゆうちょ銀行

口座記号番号：00150-5-743474

※振込み手数料金は会員のご負担とさせていただきます。また領収書は振替払込請求書兼受領証をもって代えさせていただきます。ご不明な点は、事務局までお問い合わせください。銀行振込をご希望の方は、

銀行名：ゆうちょ銀行

店名：0一九店（ゼロイチキユウ店）

口座番号：当座 0743474

口座名義：日本陽電子科学会

にお振込みください。

■ 入・退会情報（2014年1月-7月度）

【入会者】

| 会員番号  | 氏名     | 所属               | 種別   | 入会日       |
|-------|--------|------------------|------|-----------|
| 0140  | 藤岡 貴浩  | Univ. Wollongong | 正会員  | 2014/1/30 |
| S0079 | 不破 崇博  | 東理大              | 学生会員 | 2014/2/6  |
| S0080 | 木村 理人  | 東理大              | 学生会員 | 2014/2/6  |
| S0081 | 佐々木 友彰 | 学芸大院             | 学生会員 | 2014/4/24 |
| S0082 | 小野寺 花梨 | 東北大              | 学生会員 | 2014/4/28 |
| S0083 | 水野 翔平  | 京大院              | 学生会員 | 2014/6/2  |
| S0084 | 川口 満梨奈 | 千葉大院             | 学生会員 | 2014/6/4  |
| S0085 | 若森 健希  | 千葉大院             | 学生会員 | 2014/6/4  |
| S0086 | 武藤 康政  | 京大院              | 学生会員 | 2014/6/23 |
| S0087 | 椋野 日香理 | 京大院              | 学生会員 | 2014/6/23 |
| S0088 | 青木 裕仁  | 京大院              | 学生会員 | 2014/6/23 |
| S0089 | 富岡 亮輔  | 京大院              | 学生会員 | 2014/6/23 |
| S0090 | 山下 琢磨  | 東北大              | 学生会員 | 2014/3/25 |

【退会者】

| 会員番号  | 氏名     | 所属   | 種別   | 退会日       |
|-------|--------|------|------|-----------|
| S0015 | 中川 聡子  | 総研大  | 学生会員 | 2013/12/6 |
| S0052 | 宮崎 彬   | 東大院  | 学生会員 | 2014/4/28 |
| S0002 | 石井 顕人  | 阪府大  | 学生会員 | 2014/5/2  |
| S0012 | 田口 昇   | 阪府大  | 学生会員 | 2014/5/2  |
| S0051 | 佐々木 雄一 | 東大院  | 学生会員 | 2014/6/24 |
| S0047 | 風間 慎吾  | 東大院  | 学生会員 | 2014/6/24 |
| S0065 | 小林 亮平  | 京大院  | 学生会員 | 2014/6/23 |
| S0066 | 中野 滋康  | 京大院  | 学生会員 | 2014/6/23 |
| S0053 | 新井 香純  | 千葉大院 | 学生会員 | 2014/6/4  |
| S0054 | 青山 周平  | 千葉大院 | 学生会員 | 2014/6/4  |
| S0055 | 上杉 直也  | 千葉大院 | 学生会員 | 2014/6/4  |

■ 会員拡充と情報更新のお願い

陽電子科学に関心のある、大学・研究所・企業などの研究者、技術者の方にお声かけください。入会にあたっては、所定申請書に必要事項をご記入の上、事務局までお送りください。詳細は当会 WEB サイトにてご確認ください。また、所属や電話番号、電子メールアドレスなど連絡先の変更は事務局までご連絡ください。学生会員の担当教員におかれましては卒業時の更新について連絡をお願い致します。

■ WEB とメーリングリストについて

日本陽電子科学会の WEB アドレスは

<http://www.positron-science.org/>

です。日本陽電子科学会のメーリングリストへの投稿をご希望の方は、

日本陽電子科学会 事務局 <[office@positron-science.org](mailto:office@positron-science.org)>までご連絡ください。

# 日本陽電子科学会 会則

平成 20 年 8 月 13 日制定

## 第 1 章 (総 則)

- 第 1 条 本会は日本陽電子科学会 (英文: Japanese Positron Science Society, 略称 JPOSS) と称する。
- 第 2 条 本会は陽電子に関する物理, 化学, 生物およびその他の分野, ならびに陽電子の応用に携わる研究者・技術者相互の連絡をはかり, 陽電子の科学や利用技術の発展に寄与することを目的とする。
- 第 3 条 本会は前条の目的達成のため次の事業を行う。
- (1) 研究発表会, 討論会, 講演会および講習会等の開催
  - (2) 国際研究集会の開催
  - (3) 刊行物の発行
  - (4) その他本会の目的達成に必要な事業
- 第 4 条 本会は事務局を設置し, その所在地は理事会で定める。
- ②理事会において事務局担当を役員から 1 名選任し, 当該担当は本会の運営に関する事項などに当たる。
- 第 5 条 本会に必要な地に支部を置き, また専門分野の必要に応じて部会及び委員会を置くことができる。支部, 部会及び委員会に関する規定は, 別に定める。

## 第 2 章 (会 員)

- 第 6 条 本会は本会の趣旨に賛同する会員で構成される。本会の会員は正会員, 学生会員, 賛助会員および名誉会員の 4 種とする。
- 第 7 条 本会の会員は, 所定の会費を納めるものとする。会費の滞納者には, 未納通告を行い, 当該会員へのサービスを停止することができる。
- 第 8 条 本会の会費年額は, 正会員 2,000 円, 賛助会員 1 口 10,000 円とする。学生会員および名誉会員は会費を免除する。
- 第 9 条 本会に入会を希望するものは, 所定の様式により入会を申請し, 理事会の承認を得なければならない。退会を希望するものは書面でその旨申し出ることとする。
- 第 10 条 会員が次の各号に該当するときは, 会長は理事会で承認後, 総会において除名の決議が行われた会員を除名することができる。
- (1) 会費を滞納した会員
  - (2) 本会の名誉を傷つけた会員
- 第 11 条 本会に特に功績のあったものを, 理事会は推薦し, 総会の承認により名誉会員とすることができる。

## 第 3 章 (役 員)

- 第 12 条 本会には次の役員を置く。
- 会長 1 名, 副会長 若干名, 理事 若干名, 監事 2 名, 顧問 若干名
- 第 13 条 会長, 副会長は理事会が推薦し, 総会で決定する。
- 第 14 条 会長は本会を代表し, 会務を総理し, 総会および理事会を召集してその議長となる。副会長は会長を補佐し, 会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 第 15 条 理事は会員の中から次年度会長が推薦し, 総会で決定する。
- 第 16 条 監事は総会で正会員の中から選出する。
- 第 17 条 顧問は次年度会長が推薦し, 総会で決定する。

第 18 条 監事は会務および財産の状況を監査し, 理事会に出席して意見を述べることができる。

第 19 条 役員任期は 2 年とし, 1 月 1 日から翌年の 12 月 31 日までとする。ただし, 再任をさまたげない。

## 第 4 章 (会 合)

- 第 20 条 総会は毎年 1 回これを開く。その他, 会長が必要と認めるとき, 監事の請求, または会員の 3 分の 1 以上の請求があったときに会長が召集する。
- 第 21 条 総会は全会員の 4 分の 1 以上の出席をもって成立する。ただし委任状を含む。
- 第 22 条 総会では次の事項を決議する。
- (1) 会則の変更
  - (2) 役員を選任
  - (3) 事業計画および収支予算
  - (4) 事業報告および収支決算
  - (5) その他理事会が必要と認める事項
- 第 23 条 総会の議事は出席会員の過半数で決し, 可否同数の場合は議長が決する。
- 第 24 条 理事会は会長, 副会長, 理事をもって構成され, 会長が随時これを招集し, 会の運営にあたる。

## 第 5 章 (資産および会計)

- 第 25 条 本会の資産は会費ならびに本会の目的を達するため寄付された金員および物件, 事業に伴う収入, その他雑収入とし, その管理は総会の定めるところによって理事が行う。
- 第 26 条 本会の事業年度は 1 月 1 日に始まり, 12 月 31 日に終わる。

## 第 6 章 (解 散)

第 27 条 本会の解散と, それにともなう残余財産の処分は理事会および総会の議決を経るものとする。

## 第 7 章 (会 報)

- 第 28 条 会報には研究関連記事, 学会等記事, 本会からの案内, その他本会が適当と認めた事項を掲載する。
- 第 29 条 会報の編集を担当する役員を 1 名選任し, 編集委員長として編集に関する事項などに当たる。また, 会報の刊行を担当する役員を 1 名選任し, 会報刊行担当として刊行に関する事項などに当たる。なお, 両担当は理事会で選任する。

## (付則)

本会則は平成 21 年 1 月 1 日からこれを施行する。  
陽電子科学研究会会員は平成 21 年 1 月 1 日に本会の会員に自動的に移行する。

(平成 23 年 12 月 3 日改訂)

(平成 24 年 12 月 1 日改訂)

(平成 25 年 12 月 7 日改訂)

日本陽電子科学会会報「陽電子科学」(以下、会報と略す)は、編集委員会(以下、委員会と略す)の依頼による寄稿と、会員からの投稿からなる。依頼による寄稿は会員外による場合も認める。掲載の採否は委員会で決定する。内容および表現などについて委員会が修正を依頼することがある。

原稿は原則として TeX スタイルでの電子データ作成とするが、WORD ファイルの電子データでもよい。両スタイルファイルは本会 WEB ページからダウンロードして、利用することができる。著者が TeX スタイルの原稿を作成できない場合には、委員会において TeX スタイルに変換する。1 ページ目に「題目(和文、英文)」「全著者名、所属および住所(英語表記も含める)」、代表著者の連絡先(住所、TEL/FAX、電子メールアドレス)」、2 ページ目に「和文要旨(200 字程度)、英文要旨(150 Words 程度)、キーワード(和文および英文で3 個以上9 個以下)」」、3 ページ目から本文、参考文献、表、図のキャプションと続き、最後に全著者の紹介(写真(JPEG ファイル)および略歴等)の順番で記述する。図は一つの図毎に PDF 形式あるいは EPS 形式のファイルとして別途作成し、本文とともに投稿する。また、原稿提出時に著作権譲渡に関する承諾および掲載図等の掲載許可等に関する「記事出版に関わる確認書(以下、確認書と略す)」を添付する。本会指定の書式である「確認書」は本会 WEB よりダウンロードできる。会報の刷上りはモノクロ印刷であるが、WEB 版にはカラー版での掲載が可能である。

## 1. 主な内容と執筆要領

### (1) 巻頭言(刷上り1頁)

委員会から依頼された会員がその所信を述べる。

### (2) 入門講座(刷上り頁に制限はつけない)

陽電子科学の初学者の啓蒙のため、各研究の説明および最近の研究を平易に説明する。

### (3) 最近の研究から(刷上り4頁-6頁)

陽電子科学等がかかわる最近の進歩が著しい特定の主題について、現在の研究状況とその内容を専門外の会員にも理解しやすいよう紹介する。

### (4) 総説(刷上り10頁以内)

陽電子科学等がかかわる特色ある研究を中心として、分野全般にわたる最近の進歩とその背景を、広い視野から総合的に解説する。

### (5) 実験技術紹介(刷上り1頁-2頁)

1) 広い範囲の人々にとって興味のある実験法について、その原理と技術上の問題点、それが貢献できる分野などを紹介する。

2) ある実験の目的のための有効な知識、コツなど、普通の解説書には表しにくいような記事。

### (6) 特別企画(別途指定)

1) 退職記念講演、講座、座談会、特定分野の特集などは委員会が随時企画する。

2) 内容と執筆要領はその都度委員会が定める。

### (7) 受賞記事(刷上り4~6頁)

本会奨励賞受賞者および会員が授与された賞に関する業績記事。

### (8) 追悼(刷上り1頁以内)

陽電子科学への貢献の大きかった会員、名誉会員、国内外の陽電子科学研究者に対する追悼記事。執筆者は委員

会から依頼する。

### (9) 研究室紹介(刷上り1頁-2頁)

陽電子科学関連の国内外の大学・研究機関・民間企業の研究グループの紹介記事。執筆者は委員会から依頼する。

### (10) 国内外の陽電子科学関連集会の案内記事

1) 国内で開催した陽電子科学関連学会および研究会等のプログラムの紹介

2) 国内外の陽電子科学関連学会および研究会等の開催案内

### (11) 共同利用施設からのお知らせ

陽電子科学関連の全国共同利用施設等からの案内記事。

### (12) 国内外の陽電子科学関連学会の印象記(刷上り1頁)

1) 国外の陽電子科学関連学会・研究会等の参加者にその学会印象記事。執筆者は委員会が依頼する。

2) 陽電子科学研究交流会の印象記事。執筆者は委員会が依頼する。

### (13) 会員からの声(別途指定)

1) 広く会員にとって関心があると思われる話題についての個人的な意見や感想を述べた投書を掲載する。

2) 掲載の採否は委員会の判断によるが、その内容に関する責任は投稿者が負う。

### (14) 事務局からのお知らせ

1) 総会、理事会等の議事録。

2) 入会、退会者記事。

3) その他の本会運営に関しての案内記事。

## 2. 原稿作成上の注意

(1) TeX 用スタイルファイルあるいは WORD スタイルファイルを利用して原稿を作成する。依頼原稿は依頼した編集担当委員宛に電子メールなどを利用して電子データで提出する。その他の原稿は、下記4の間合先に提出する。

(2) 指定頁数を大幅に超過した場合には原則として短縮を求めることがある。目安として2400字が刷上り1頁となる。簡単な図の場合には、600字と考えるとよい。

(3) 本文は黒色、横書きとし、専門用語以外は原則として常用漢字・新仮名づかいを用いる。不必要な外国語の使用は避ける。句読点は、「,」「.」に統一する。

(4) 単位は原則として SI 単位を用いる。数字と単位の間は半角を空ける。単位は「ms<sup>-1</sup>」のように表記する。

(5) 原稿の言語は日本語とするが、委員会が認める場合には英語でもよいとする。日本語で書いた場合には、英数字はすべて半角とする。

(6) 数式には式1、式2と通し番号をつけ、イタリックで書く。また、物理定数や物理量を示す記号もイタリックとする。

(7) 表は別紙に書き、表1、表2のように通し番号をつけ、説明文、表を続ける。他の文献から引用する場合には引用文献を記載する。

(8) 図および写真には図1、図2のように通し番号をつけ、一つの図毎に別紙に書き、本文とは別に PDF 形式あるいは EPS 形式で作成する。また、図説としてキャプションは本文にまとめて記す。他の文献から図を引用もしくは転載する場合には、必ず引用文献を記載する。

(9) 参考文献

- 1) 文献引用の範囲は、それが必要かつ十分であるように留意する。私信のような一般の人が入手しにくい文献は引用することをできるだけ避ける。
- 2) 文献の引用は Beckham,<sup>1)</sup> Coleman,<sup>2,3)</sup> Lewis<sup>4-6)</sup> などのように通し番号をつけ、論文の末尾に一括して示す。1つの番号には1つの論文が引用されることが望ましい。
- 3) 参考文献の書き方は著者名、誌名、巻、年、頁の順とする。著者名は原則として省略しない。巻数はボールドの指定をする。雑誌名の省略及び欧文の書き方は AIP の方式に準ずる。単行本の書名のうち日本語のものは「」でくくり、欧文のものはイタリックの指定をする。日本語の場合は人名、書名とも省略しない。次の例の形式にならう。
  - 1) 谷山雅夫, 福田博: 日本陽電子科学会会報 **3** (1993) 23.
  - 2) H. Goto, A. Baba, B. Smith, C. Dormel: Phys. Rev. Lett. **64** (1990) 235.
  - 3) 小林祐輔: 「陽電子のフロンティア」(科学同人, 2011) p. 293.
  - 4) G. Smith, J. Thomas: Positron & Positronium Physics (ADG Academic, 2001) p. 111.
  - 5) <http://chemistry.ttf.tohzai-u.jp/gabcb111/index.html>
- (10) 著者校正は必ず1回以上行い、それにより内容および表記について著者が最終的な了解をしたと判断する。
- (11) 別刷は作成しない。
- (12) 他の文献から転載または修正して転載する場合には、著作権の問題があるため、必ず出典を明記し、著者自身が

著者および発行者の書面による許可(自著の場合にも必要)を得ること。なお、著作の代表者は掲載許可に関する「確認書」を提出すること。

- (13) 謝辞が必要な場合は原稿作成にかかわるものに限定し、本文最後に簡潔に記載する。

3. 著作権

- (1) 会報に掲載された寄稿等の著作権  
会報に掲載された寄稿・投稿等(以下寄稿等という)の著作権は日本陽電子科学会に帰属する。著作の代表者は著作権譲渡に関する委嘱に関して、「確認書」を提出すること。
- (2) 寄稿等の利用  
寄稿等の全部または一部を他の出版物に転載し、翻訳し、あるいはその他の利用をしようとする者は、本会の承認を得、またその寄稿等が会報に掲載されたものであることを明記(出所明示)しなければならない。

4. 問合せ先

〒305-8565 つくば市東 1-1-1 つくば中央第五  
産業技術総合研究所 計測標準研究部門 伊藤賢志 気付  
日本陽電子科学会 編集委員会  
E-mail: [editor@positron-science.org](mailto:editor@positron-science.org)  
TEL/FAX: 029-861-4622, <http://positron-science.org/>

(平成 25 年 9 月 2 日一部改訂)  
(平成 25 年 12 月 23 日一部改訂)

## 編集後記

私は、昨年9月に編集および刊行委員会メンバーに加わり、会報2号・3号の編集に携わってきた。それ以前の編集作業経験は皆無であり、またそもそも自身の執筆技術には自信がないのもあって、編集作業では依然戸惑うことが多い。原稿執筆者や他の編集委員の協力で、なんとか務めている感がある。それ

でも（それ故？）、完成した会報を眺めるときには、結構な満足感があるものである。編集者の目から原稿を見ることで、また、時には専門外の原稿内容を正確に理解しなくてはならないことで、作業が私自身のよい勉強機会となっているようだ。編集作業に興味のある方、ぜひメンバーに加わりませんか？(NO)

### 日本陽電子科学会

#### ■役員（任期2013年1月1日より2014年12月31日まで）

会長 白井泰治（京大院工）

副会長 長嶋泰之（東理大理） 藤浪真紀（千葉大院工）

理事 荒木秀樹（阪大院工） 伊藤賢志（産総研） 河裾厚男（原子力機構） 小林慶規（産総研）

島津彰（日東電工） 鈴木良一（産総研） 永井康介（東北大金研） 平出哲也（原子力機構）

顧問 義家敏正（京大原子炉） 兵頭俊夫（KEK） 監事 堀史説（大阪府立大） 和田健（KEK）

#### ■会報編集委員会

委員長 藤浪真紀 副委員長 永井康介

伊藤賢志 井上耕治 大島永康 佐藤公法 水野正隆

#### ■会報刊行委員会

委員長 伊藤賢志 副委員長 岡壽崇

大島永康 オローク ブライアン 佐藤公法 永井康介 藤浪真紀

学会事務局 〒305-8565 つくば市東1-1-1 つくば中央第五 産総研 計測標準研究部門 伊藤賢志 気付

E-mail: office@positron-science.org, TEL/FAX: 029-861-4622

### 陽電子科学 第3号(2014)

発行人 白井泰治

発行所 日本陽電子科学会 〒305-8565 つくば市東1-1-1 つくば中央第五

印刷所 株式会社 芳文社 〒194-0037 東京都町田市木曽西2-3-14

印刷日 2014年8月25日

発行日 2014年9月1日（年2回発行）

頒 価 2,000円（会員の購読料は会費に含む）

本誌記事の無断複写等を禁じます。